

トゥザワールド

TO THE WORLD 鹿毛 2011年生 安平産



RACE RECORD 競走成績

G2弥生賞の他、G1・2着3回の実力馬

2~4歳時に日、豪で12戦4勝、2着5回
総取得賞金：2億6001万6000円、26万豪ドル

優勝	G2 弥生賞	(2014)	中山・芝2000m
優勝	L 若駒S	(2014)	京都・芝2000m
優勝	黄菊賞	Record 1:46.5 (2013)	京都・芝1800m
2着	G1 有馬記念	(2014)	中山・芝2500m
2着	G1 皐月賞	(2014)	中山・芝2000m
2着	G1 The BMW	(2015)	ローズヒル・芝2400m
2着	G2 セントライト記念	(2014)	新潟・芝2200m

ペルセウスシチーが鈴鹿Sを快勝し中央オープン入り！ マナホクが岩手重賞制覇など、中央・地方で着実に勝ち星を重ねる！

PEDIGREE TABLE 3代血統表

キングカメハメハ 鹿毛 2001	キングマンボ Kingmambo	Mr.Prospector
		Miesque
	*マンファス Manfath	*ラストタイクーン
		Pilot Bird
トゥザヴィクトリー 鹿毛 1996	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo
		Wishing Well
	*フェアリードール Fairy Doll	Nureyev
		Dream Deal (9-f)

5代までのインブリード: Nureyev:M3×S4, Northern Dancer:M4×S5×S5

STALLION REPORTS 種牡馬成績

ペルセウスシチーがJRA4勝目を挙げオープン入り！

【主な産駒】

ゴールドチャリス (母父Rainbow Quest) 中京2歳S-OP、函館道新スポーツ杯
ワールドリング (母父エンドスウィープ) 南関東・優駿スプリント、アフター5スター賞
ペルセウスシチー (母父コマンドーインチャー) 鈴鹿S、鋸山特別
ミエノワールド (母父スペシャルウィーク) ベストウィッシュC
コスモアンジュ (母父*クロフネ) キャンドルライト賞
マナホク (母父ネオユニヴァース) 岩手・不来方賞、北海道・北海優駿3着

FAMILY LINE 母系

母は最優秀4歳以上牝馬兄弟や近親に活躍馬多数

母 トゥザヴィクトリー 最優秀4歳以上牝馬、6勝、エリザベス女王杯-G1、阪神牝馬特別-G2、府中牝馬S-G3、クイーンS-G3、オークス-G12着、マーメイドS-G32着、有馬記念-G13着、桜花賞-G13着、フェブラリース-G13着、UAE入着、ドバイワールドC-G12着。産駒
 トゥザワールド (牡 by キングカメハメハ) [本馬]
 トゥザグローリー (牡 by キングカメハメハ) 8勝、日経新春杯-G2、日経賞-G2、京都記念-G2、鳴尾記念-G3、中日新聞杯-G3、青葉賞-G22着、有馬記念-G13着 [2回] [種牡馬]
 トーセンピクトリー (牝 by キングカメハメハ) 6勝、中山牝馬S-G3、クイーンS-G32着、ローズS-G23着、難波S、ジェントイルドンナメモリアル、西部スポニチ賞、茶臼山高原特別
 トゥザレジェンド (牝 by キングカメハメハ) 5勝、梅田S
 トゥザクラウン (牡 by キングカメハメハ) 5勝、大阪・ハンブルクC、葉山特別、寺泊特別
 アゲヒバリ (牝 by *クロフネ) 南関東(公)4勝、東京プリンセス賞4着。産駒
 リオンリオン:4勝、セントライト記念-G2、青葉賞-G2 [種牡馬]
 メドウラーク:6勝、七夕賞-G3、障害3勝、阪神ジャンプS-JG3
 ダノンディスタンス:3勝、若駒S-L2着、京都新聞杯-G23着
 トゥザフロンティア (牡 by ロードカローナ) 3勝

SIRE REFERENCE 父系

後継種牡馬があらゆるジャンルで活躍を広げる！

父キングカメハメハは8戦7勝、JRA最優秀3歳牡馬、ダービー-G1、NHKマイルC-G1、神戸新聞杯-G2、毎日杯-G3。2010、2011年総合リーディングサイアー、2008、2009年2歳種牡馬1位、2011年~2017年JRAダート種牡馬1位。

【代表産駒】

トゥザワールド [本馬]、ロードカナロア (香港スプリント-G1 [2回])、ドゥラメンテ (ダービー-G1)、ホッコータルマエ (チャンピオンズC-G1)、ローズキングダム (ジャパンC-G1)、アババネ (牝馬三冠)、ミッキーロケット (宝塚記念-G1)、レイデオロ (ダービー-G1)、ベルシャザール (ジャパンCダート-G1)、ラプリーディ (天皇賞・秋-G1)、ルーラーシップ (クイーンエリザベス2世C-G1)、レッツゴードンキ (桜花賞-G1)、リオンディーズ (朝日杯フューチュリティS-G1)、チュウワウイザード (チャンピオンズC-G1)。